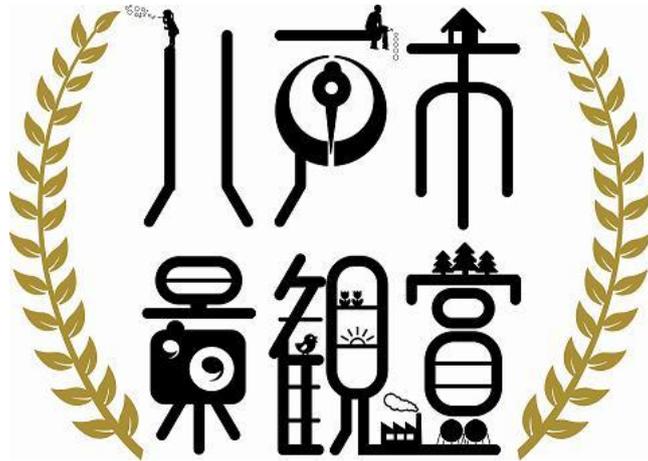


# 八戸市景観賞 記録集

(第1回～第33回)



## 八戸市景観賞受賞箇所一覧

- 第1回 昭和62年度（1987）「八戸市まちの景観功労賞」
- No.1「ファッションパル・ヴィアノヴァ」 十三日町24
  - No.2「カネイリ」 番町26
  - No.3「河内屋橋本合名会社」（現 ほこるや） 八日町6-1
- 第2回 昭和63年度（1988）「八戸市まちの景観功労賞」
- No.4「八戸ワシントンホテル」（現 ホテルグローバルビュー八戸） 十三日町22
  - No.5「大丸ビル」 堤町15
  - No.6「八戸聖ルカ教会」 類家四丁目9-3
  - No.7「在家堤」 田面木字神明沢16
- 第3回 平成元年度（1989）～2年度（1990）「八戸市まちの景観功労賞」
- No.8「専門学校アレック情報ビジネス学院」 廿三日町13
  - No.9「駒井酒造店」 湊町字本町9
  - No.10「加賀谷小児科医院」（閉院） 柏崎四丁目16-29
  - No.11「県立八戸高等学校の桜・ケヤキ並木」 長者四丁目4
  - No.12「今淵邸」（焼失） 烏屋部町
- 第4回 平成4年度（1992）「八戸市まちの景観賞」（第4回より「まちの景観功労賞」から改称）
- No.13「十三日町の街並み」 十三日町
  - No.14「県営住宅旭ヶ丘団地」 旭ヶ丘一丁目1-2
  - No.15「八戸プラザホテル周辺の景観」 柏崎一丁目6-6
- 第5回 平成5年度（1993）「八戸市まちの景観賞」
- No.16「榊帆風八戸センター」 北インター工業団地一丁目5-2
- 第6回 平成6年度（1994）「八戸市まちの景観賞」
- No.17「八戸市 市民広場」 内丸一丁目1-1
- ※この年より、建設省（現・国土交通省）「都市景観の日（毎年10月4日）」関連事業とした。
- 第7回 平成7年度（1995）「八戸市まちの景観賞」
- No.18「ケーキハウス アルパジョン」 下長二丁目1-25
  - No.19「榊タイコーシステムエンジニアリング」 北インター工業団地一丁目3-54  
（現 サクサシステムエンジニアリング株）
  - No.20「八戸工業大学」 妙字大開88-1

第8回 平成8年度（1996）「八戸市まちの景観賞」	
No.21「サニーライフ」	長根一丁目1-36
No.22「ニューバッグ モリタ」	三日町14-1
第9回 平成9年度（1997）「八戸市まちの景観賞」	
No.23「八戸シーガルブリッジ」	豊洲
No.24「高山邸」	柏崎六丁目
第10回 平成10年度（1998）「八戸市まちの景観賞」	
No.25「高橋皮膚科」	番町16-2
No.26「川村歯科医院」	類家四丁目7-1
第11回 平成11年度（1999）「八戸市まちの景観賞」	
No.27「ピアドゥ」（花と緑部門）	沼館四丁目7-111
No.28「榊山勝商店」（建築デザイン部門）	十八日町24
No.29「馬淵川水管橋」（まちなみ空間部門）	城下二丁目18～長苗代三丁目3
※この年より、「花と緑部門」、「建築デザイン部門」、「まちなみ空間部門」の3部門に分けて募集を行った。	
第12回 平成12年度（2000）「八戸市まちの景観賞」	
No.30「ケーキハウス アルパジョン 湊高台店」（花と緑部門）	湊高台六丁目5-17
No.31「シャトーカミヤ 八戸」（現ノートルダム八戸）（建築デザイン部門）	城下二丁目11-70
No.32「八戸ニュータウン モデル住宅街区」（まちなみ空間部門）	東白山台三丁目内
第13回 平成13年度（2001）「八戸市まちの景観賞」	
No.33「ナクイ理美容マート」（花と緑部門）	城下四丁目9-2
No.34「カフェ トロピコ周辺の路地空間」（まちなみ空間部門）（閉店）	十六日町18-1
第14回 平成14年度（2002）「八戸市まちの景観賞」	
No.35「国立八戸工業高等専門学校」（建築デザイン部門）	田面木字上野平16-1
No.36「新井田川沿い桜並木」（まちなみ空間部門）	諏訪三丁目～類家五丁目
第15回 平成15年度（2003）「八戸市まちの景観賞」	
No.37「カフェレストラン茶居花」（花と緑部門）	新井田字出口平32-2
No.38「東奥日報社八戸ビル」（建築デザイン部門）	北白山台五丁目2-5
No.39「大正ロマンと八日町歩道空間」（まちなみ空間部門）	八日町6-1
No.40「JR八戸駅と大イチイ」（特別賞）	尻内町字館田2-2

- 第16回 平成16年度（2004）「八戸市まちの景観賞」
- No.41「三日町ケースビルディングとカフェサザンウィンド」（閉店）  
（花と緑部門&まちなみ空間部門） 三日町18-1
- No.42「八戸菓子かぐら南類家店」（建築デザイン部門）（閉店） 南類家四丁目1-24
- No.43「プレイピア白浜」（特別賞）（閉園） 鮫町字日陰沢7-3
- 第17回 平成17年度（2005）「八戸市まちの景観賞」
- No.44「カッコーの森エコーランドのせせらぎ遊歩道」（花と緑部門） 南郷大字中野字高村5-5
- No.45「八戸屋台村 みろく横丁」（まちなみ空間部門） 三日町～六日町
- 第18回 平成18年度（2006）「八戸市まちの景観賞」
- No.46「八戸市更上閣」（建築デザイン部門） 本徒土町5-4
- No.47「新むつ旅館」（特別賞） 小中野六丁目20-18
- 第19回 平成19年度（2007）「八戸市景観賞」（第19回より「まちの景観賞」から改称）
- No.48「長者ファーム」（閉園）（まちなみ空間部門） 長者三丁目9
- No.49「山の楽校運営協議会」（景観づくり部門） 南郷大字島守字北ノ畑6-2
- No.50「新井田西町内会」（景観づくり部門） 新井田西三丁目8（花だん）
- No.51「エスタシオン」（特別賞） 三日町9
- ※この年より、「花と緑部門」、「建築デザイン部門」を「まちなみ空間部門」に統合し、「景観づくり部門」を新設して募集を行った。
- 第20回 平成20年度（2008）「八戸市景観賞」
- No.52「市野沢堤」（まちなみ空間部門） 南郷大字市野沢字堤向
- No.53「八戸セメント(株)NSPタワー」（まちなみ空間部門） 新井田字下鷹待場7-1
- No.54「三日町パーキングプラザの緑化活動」（景観づくり部門） 三日町7-1
- 第21回 平成21年度（2009）「八戸市景観賞」
- No.55「光星学院高等学校」（まちなみ空間部門） 湊高台六丁目14-5
- No.56「(有)石甚」（旧店舗）（景観づくり部門） 柏崎一丁目9-2
- No.57「(株)高橋製作所」（景観づくり部門） 河原木字浜名谷地76-344
- 第22回 平成22年度（2010）「八戸市景観賞」
- No.58「こどもの城保育園」（まちなみ空間部門） 是川五丁目6-2
- No.59「八戸臨海鉄道(株)」（旧事務所）（まちなみ空間部門） 一番町一丁目3-1
- No.60「八戸工業大学メディアセンター」（まちなみ空間部門） 妙字大開88-1
- No.61「八戸ガス(株)球形ガスホルダー」（景観づくり部門） 沼館三丁目6-48
- 第23回 平成23年度（2011）「八戸市景観賞」
- No.62「フラワーショップ 福寿園」（焼失）（まちなみ空間部門） 一番町一丁目1-14

- 第24回 平成24年度（2012）「八戸市景観賞」  
 No.63「元祖鶴子まんじゅう 萬榮堂」（まちなみ空間部門） 八幡字五日町2-9  
 No.64「喫茶 北岳の茶屋」（まちなみ空間部門） 城下四丁目17-14
- 第25回 平成25年度（2013）「八戸市景観賞」  
 No.65「八戸彩画堂」（まちなみ空間部門） 城下一丁目2-10  
 No.66「CAFÉ DINING VOILA」（まちなみ空間部門） 湊高台三丁目1-11
- 第26回 平成26年度（2014）「八戸市景観賞」  
 No.67「対泉院」（まちなみ空間部門） 新井田字寺ノ上13-1  
 No.68「鮫角灯台」（まちなみ空間部門） 鮫町字小舟渡平
- 第27回 平成27年（2015）「八戸市景観賞」  
 No.69「KOMEKUUTO八戸店」（まちなみ空間部門） 田向二丁目14-10  
 No.70「八戸LNGターミナル」（まちなみ空間部門） 豊洲7-2  
 No.71「八戸市史跡根城の広場」（景観づくり部門） 根城字根城47
- 第28回 平成28年（2016）「八戸市景観賞」  
 No.72「植物屋ARAYA」（景観づくり部門） 根城五丁目10-19  
 No.73「八戸学院短期大学幼児保育棟と美保野キャンパスのケヤキ並木」（まちなみ空間部門） 美保野13-384  
 No.74「八戸市立南郷図書館」（まちなみ空間部門） 南郷大字市野沢字中市野沢39-1  
 No.75「蕪島前広場と蕪島海浜公園」（まちなみ空間部門） 鮫町字鮫
- 第29回 平成29年（2017）「八戸市景観賞」  
 No.76「旧島守発電所及び旧島守発電所保存公園」（景観づくり部門） 南郷大字島守字持金沢3  
 No.77「城下館々」（まちなみ空間部門） 城下四丁目9-2  
 No.78「小さな街のレストランSpread&地域のお洒落な集会所Canvas」（まちなみ空間部門） 妙字坂中8-1-1
- 第30回 平成30年（2018）「八戸市景観賞」  
 No.79「小久保保育園」（まちなみ空間部門） 桜ヶ丘二丁目35-46  
 No.80「八戸市立西白山台小学校」（まちなみ空間部門） 西白山台四丁目15-1  
 No.81「更上閣にぎわい広場」（景観づくり部門） 徒士町5-4  
 No.82「三八城公園」（景観づくり部門） 内丸一丁目14-49他
- 第31回 平成31年（2019）「八戸市景観賞」  
 No.83「相馬邸（工房マザーハウス・café yumeru）」（まちなみ空間部門） 桜ヶ丘一丁目1-20  
 No.84「八戸市みなと体験学習館」（まちなみ空間部門） 湊町字館鼻67-7  
 No.85「島守田園空間博物館運営協議会」（景観づくり部門） 南郷大字島守字古坊61-1

第32回 令和3年（2021）「八戸市景観賞」

No.86「グランフォート別館 LUMO」（建築物部門）	新荒町33
No.87「清水寺観音堂」（建築物部門）	是川字中居18-2
No.88「AG Designオフィス兼自宅」（建築物部門）	西白山台三丁目16-28
No.89「糠塚・大慈寺と周辺地」（景観づくり活動部門）	長者一丁目6-59
No.90「私の街を学ぶ～多賀台小学校・通学路で見つけた景観」（生きた景観部門）	多賀台1丁目

※この年より、「建築物部門」、「広告物部門」、「公共施設・公共空間部門」、「景観づくり活動部門」、「生きた景観部門」の5部門に分けて2年間募集を行った。

第33回 令和5年（2023）「八戸市景観賞」

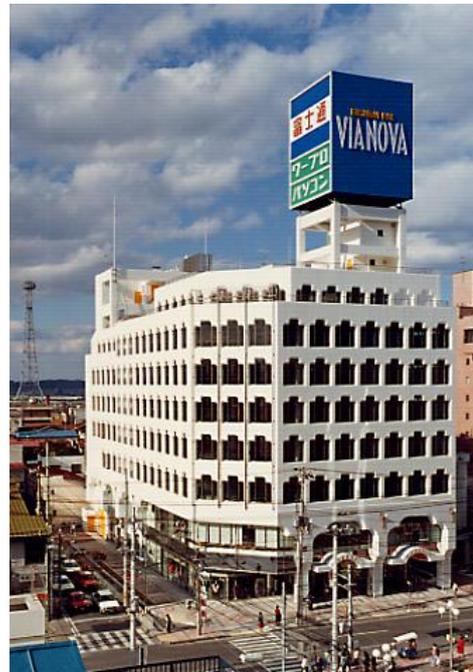
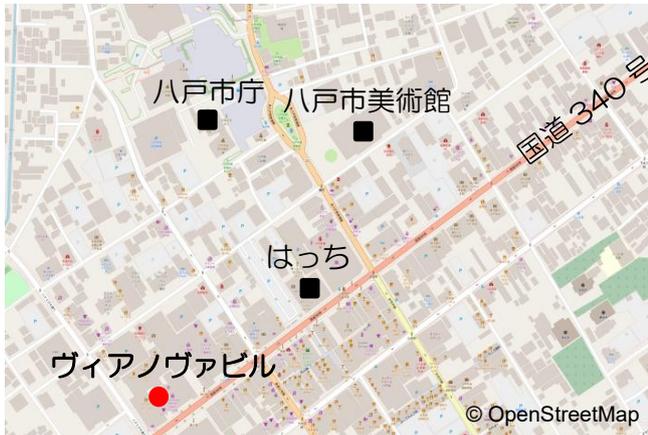
No.91「八戸市美術館」（公共施設・公共空間部門）	番町10-4
No.92「KenKumi Garden（佐藤邸のバラ園）」（景観づくり活動部門）	湊高台五丁目3-18
No.93「マリエントからのみなと景観」（生きた景観部門）	鮫町字下松苗場14-33

## 第1回 昭和62年度（1987）「八戸市まちの景観功労賞」

### No.1 「ファッションパル ヴィアノヴァビル」

#### 選定理由

中心市街地において、ゆとりと潤いのあるアメニティ空間を確保したプロムナードを形成している。  
建物のデザインが周囲と調和しており、町のランドマークとしてのたたずまいを呈している。



### No.2 「カネイリ」

#### 選定理由

一本の木（アメリカハナミズキ）が四季折々の表情を見せ、通行人の目を楽しませてくれる。  
建物のファサードとオープンスペースと一本の木が見事に調和している。



### No.3「河内屋橋本合名会社」(現：ほこるや)

#### 選定理由

歴史を感じさせる中にも風格がある。

正面の駕籠等、建物としての顔があり、周辺地区のシンボルの存在となっている。



### 第2回 昭和63年度(1988)「八戸市まちの景観功労賞」

### No.4「八戸ワシントンホテル」(現：ホテルグローバルビュー八戸)

#### 選定理由

建物は落ち着いた風格のあるツインビルである。

ホテル前のコミュニティ空間は、第1回表彰のヴィアノヴァビルと一体となってショッピングモールを形成し、ゆとりとうるおいを提供している。



## No.5 「大丸ビル」

### 選定理由

街路事業を契機に立替するにあたり、各店の統一を図り建物を建築したもので、背後の駐車場を覆う役目を果たしている。

前面の歩道は、建主が費用を負担し、カラー舗装として歩行者空間の高質化を図っている。

建物の色・グリーンは長根運動公園に向かう道路に位置しており、「緑」の象徴となっている。



## No.6 「八戸聖ルカ教会」

### 選定理由

類家地区の住宅街において、ブロック塀に壁画を施すなど住宅地区の景観向上に寄与している。



## No.7「在家堤」

### 選定理由

近年管理者等の努力により、美しい景観を呈している。

田面木交差点での信号待ちの時など、心なごむ景観を有している。



## 第3回 平成元年度（1989）～2年度（1990）「八戸市まちの景観功労賞」

## No.8「専門学校アレック情報ビジネス学院」

### 選定理由

一本のケヤキが建物の一部となり、斬新なデザインで、夜になるとライトに照らされて、素晴らしい景観を提供している。



## No.9 「駒井酒造店」

### 選定理由

レンガと木造をうまく使いあわせ、酒屋らしい古きたたずまいがあり、湊町にあって懐旧の情を想起させる。



## No.10 「加賀谷小児科医院」(閉院)

### 選定理由

白壁に小鳥の壁画が描かれ、広い空間があり、ふれあい、かたらい、休息の場として心なごむ景観を有している。



## No.11 「県立八戸高等学校の桜・ケヤキ並木」

選定理由：

学生及び市民に憩いとゆとりを与え、春の桜、ケヤキの緑等、四季折々の美しい景観を有している。



## No.12 「今瀨邸」(焼失)

選定理由：

職人の手により彫刻された大理石とタイル張りの外壁と、三重屋根で低く抑えられたエントランスの洋風建築物が、緑の中に落ち着いた雰囲気を感じさせ、珍しい趣のある景観を呈している。



## 第4回 平成4年度（1992）「八戸市まちの景観賞」（「まちの景観功労賞」から改称）

### No.13 「十三日町の街並み」

#### 選定理由

たくさんの人々が集まる中心市街地において、電柱類の地中化にあわせて、店舗の壁面後退を行うとともに、八戸らしさをイメージした街灯、歩道タイル、モニュメントなどを整備することで、賑わいのある快適な歩行者空間をつくり出しており、中心市街地及び八戸市のイメージアップにも貢献している。



### No.14 「県営住宅旭ヶ丘団地」

#### 選定理由

周辺環境と住む人の快適さを配慮するとともに、これまでの公営住宅には見られない独特のデザインを採用することで、良好な住環境をつくり出しており、これからの公営住宅デザインのあり方を示すうえで、ひとつのモデルとなっている。



## No.15 「八戸プラザホテル周辺の景観」

### 選定理由

一般の人からも見えるように道路側に噴水を整備し、駐車場を和らげるように植栽や通路を配慮することにより、潤いと安らぎを与える空間をつくり出しており、公共空間と接する場合の景観形成のあり方を示すものとなっている。



## 第5回 平成5年度（1993）「八戸市まちの景観賞」

### No.16 「(株)帆風八戸センター」

### 選定理由

洗練されたデザインを周辺の環境と調和させるとともに、細部にも景観に配慮することにより、快適なオフィス空間をつくり出している。

景観に配慮した企業のモデルとして、八戸ハイテクパーク内だけでなく、今後立地予定の企業に波及効果を期待できる。



## 第6回 平成6年度（1994）「八戸市まちの景観賞」

### No.17「八戸市 市民広場」

#### 選定理由

中心市街地にあって見事な樹木群に囲まれた広場は、訪れる人々に四季折々の彩りを見せ、潤いとやすらぎを与えてくれる。舟の噴水で戯れる親子、昼食をとるOL、ベンチで憩い語らう人々等、都心におけるにぎわい交流の場であり、まさに市民の広場として貴重な空間を創出している。



## 第7回 平成7年度（1995）「八戸市まちの景観賞」

### No.18「ケーキハウス アルパジョン」

#### 選定理由

四季を通じ、花好きの人たちにとって吸い寄せられそうなほどの花で彩られているお店は、周囲に潤いを与えてくれ、訪れる人たちの心を和ませます。

また、花を飾った演出には、花に寄せる経営者の思いが感じられる。



## No.19 「株式会社タイコーシステムエンジニアリング」

(現：サクサエンジニアリング(株))

### 選定理由

「産業の頭脳部分」が集積する、八戸ハイテクパークの中にあって、木のぬくもりあふれるロッジ(山小屋)風の木造社屋は、周囲の豊かな緑と見事に調和し、人と自然に優しい企業空間を創出している。



## No.20 「八戸工業大学」

### 選定理由

国道45号線沿いにある、美しい松林や正門からのアプローチの並木など、見事に維持管理されたキャンパスは、魅力ある学園空間を創り出し、さらに国道45号線沿いの景観美を形成している。

また、自然美にとむ運動公園は市民にも開放され、緑の樹林の美しい景観を創っている。



## 第8回 平成8年度（1996）「八戸市まちの景観賞」

### No.21 「サニーライフ」

#### 選定理由

長根運動公園と調和した緑の中に配置された建物は、従来の集合住宅と異なり、各戸に空間が設けられ、さらに、潤いとゆとりに満ちたコモンスペースを設けることによって、そのたたずまいは、個性的で自由な空間を演出している。



### No.22 「ニューバッグ モリタ」

#### 選定理由

中心街の一角にあって、背の高い大きなウィンドウは建物を明るく見せ、気品ある豊かなディスプレイで通行人にうるおいを与え、夜遅くまで、ウィンドウをライトアップすることにより、明るく楽しめる夜の街並みを演出している。



## 第9回 平成9年度（1997）「八戸市まちの景観賞

### No.23 「八戸シーガルブリッジ」

#### 選定理由

八戸港の人工島ポートアイランドと陸地とを結ぶ、国内ではまれな斜塔をもった斜張橋であり、その近代的構造美は、海から拓けたまち八戸のシンボルとなっている。また、夜は効果的にライトアップされ、夜空にその姿を幻想的に浮かび上がらせており、市民に親しまれる新しい八戸港のイメージを演出している。



### No.24 「高山邸」

#### 選定理由

通りに面し開放的なデザインである外構は、色とりどりの季節の花々で彩られ、道行く人々にも、その豊かな色彩にふれる喜びを共有させてくれる。

一般住宅でありながらも、街角の景観形成を十分に配慮し、うるおいのある街づくりに積極的に寄与している。



## 第10回 平成10年度（1998）「八戸市まちの景観賞」

### No.25 「高橋皮膚科」

#### 選定理由

造形的に優れており、また玄関に至るスロープを設置するなど、近代的・個性的な中にも人に優しさを感じさせるような建物のデザインは、植栽の緑や季節の花と調和し、街の一角に洗練された小さなオアシスを創りだしている。



### No.26 「川村歯科医院」

#### 選定理由

手入れの行き届いた花と緑による、建物とマッチした景観演出への積極的な努力が実を結び、その豊かな季節の彩りは、周辺の環境とも調和し、隣接する公園を訪れる人々や周辺の住宅地域にも、親しみと潤いを与えている。

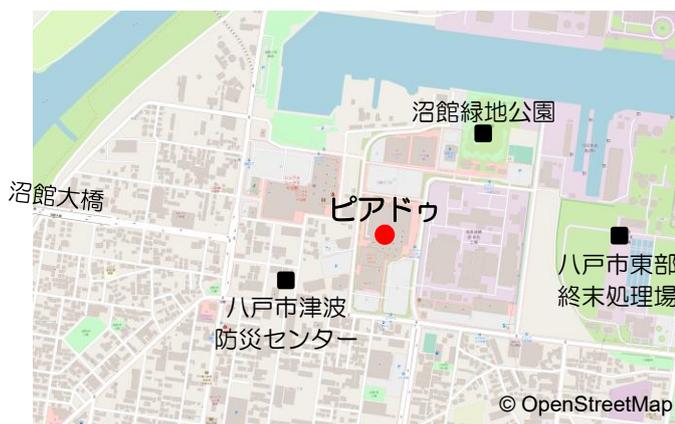


## 第11回 平成11年度（1999）「八戸市まちの景観賞」

### No.27「ピアドゥ」（花と緑部門）

#### 選定理由

四季折々の周辺を彩る花々は、活気あふれるショッピングセンターを見事に演出し、買い物客の目を楽しませながら優しく迎えてくれる。手入れの行き届いた花々には、関係者の維持管理への努力が感じられる。



### No.28「株式会社 山勝商店」（建築デザイン部門）

#### 選定理由

大正時代の代表的な商店建築であるこの建物は、維持管理も行き届いており、八戸中心街の一角にノスタルジックな雰囲気醸し出している。その確かな存在感には八戸の歴史の香りが漂い、後世にぜひ残しておきたい八戸にとって貴重な建物の一つである。



## No.29 「馬淵川水管橋」(まちなみ空間部門)

### 選定理由

夕暮れ時にオレンジ色の柔らかな照明によって浮かび上がるアーチ型の橋の姿は幻想的であり、見るものを魅了している。光を効果的に生かすことによって、馬淵川に魅力ある新しい景観イメージを創り出している。



## 第12回 平成12年度(2000)「八戸市まちの景観賞」

## No.30 「ケーキハウス アルパジョン 湊高台店」(花と緑部門)

### 選定理由

店の前を彩るたくさんの花と緑は、メルヘン的な雰囲気醸し出し、見るものを幻想的な世界へと誘い、背景の店舗と相まって独特な魅力と存在感を与えている。また、季節に応じた草花の演出からは、関係者の花と緑に対する熱意と努力が感じられる。



## No.31 「シャトーカミヤ 八戸」(建築デザイン部門)

### 選定理由

直線と曲線をうまく組み合わせたこの建物は、近代的で斬新なデザインとなっており、夜には効果的にライトアップされ、一段とその魅力を増してくる。また、前面の広い庭には芝生が施され、ゆったりとした空間を演出し、建物と見事に調和している。



## No.32 「八戸ニュータウン モデル住宅街区」(まちなみ空間部門)

### 選定理由

よりよい街並みを実現するための地区計画が定められているニュータウン内において、当街区は、さらに緑豊かで、統一感のとれたニュータウンのモデルとして、建築協定と緑化協定を締結することにより、快適で良好なまちづくりが行われている。そこには、住民のまちづくりに対する協力と努力の姿勢が感じられる。



## 第13回 平成13年度（2001）「八戸市まちの景観賞」

### No.33 「ナクイ理美容マート」（花と緑部門）

#### 選定理由

建物の外壁や周囲を彩る花と緑は美しく飾られ、道行く人を和ませる。また、夜間にはライトアップされ、花と緑をより美しく見せる工夫がされている。

一つの店舗の花と緑に対する熱意が、城下地区に新たな魅力を与えている。



### No.34 「カフェ トロピコ周辺の路地空間」（まちなみ空間部門）

#### 選定理由

複数の建物により共有されるこの路地空間は、床の石畳及び板塀、木造の店舗に施された植物や小道具により、旧市街地の一角にくつろぎの場を生み出している。

古い建造物の修復による造景には、この路地空間を大切にしようとする所有者の強い意欲が感じられる。



## 第14回 平成14年度（2002）「八戸市まちの景観賞」

### No.35 「国立八戸工業高等専門学校」（建築デザイン部門）

#### 選定理由

異なる学科の建物をつなぎ合わせた連邦型の校舎は、デザイン及び色彩に統一感があり、夜は建設環境工学科棟の列柱をはじめ、照明のともった校舎が、もう一つの魅力をつくり出している。

また、八戸の「八」の字をかたどったステンレス製の正門は、道路沿いに新鮮なイメージを与えており、工業都市・八戸を支える教育機関にふさわしい景観を生み出している。



### No.36 「新井田川沿い桜並木」（まちなみ空間部門）

#### 選定理由

25年ほど前に、区画整理事業の中で植樹された木々が成長し、現在では春になると美しい桜づつみを形成している。木の管理は行き届いており、花の質も見事である。

花の時期を過ぎても青々とした葉が茂り、新井田川の水面や堤防、川沿いの道路とともに風情があり、新しい八戸の名所ともなり得る空間を創り出している。



## 第15回 平成15年度（2003）「八戸市まちの景観賞」

### No.37「カフェレストラン茶居花」（花と緑部門）

#### 選定理由

店の周辺を美しく彩る色彩豊かな花々や芝生は、やさしく落ち着いたきのある店舗建築とマッチし、清楚で和やかな雰囲気を作り出している。花や植物は、手入れがよく行き届いており、維持・管理への努力と熱意が感じられる。



### No.38「東奥日報社八戸ビル」（建築デザイン部門）

#### 選定理由

南棟と北棟を最上階でつないだアーチ状構造建築の空間部分をガラス張りにし、その中にドームを埋め込むという過去に例のない斬新な発想によるデザインである。また、正面アプローチに配された多数の支柱に支えられている2階のオープンデッキは、横断歩道や隣接するローズガーデンに結ばれ一体となっている。地域にも広く開放されており、周辺空間との調和も見事である。



## No.39 「大正ロマンと八日町歩道空間」(まちなみ空間部門)

### 選定理由

「第一回八戸市まちの景観功労賞」を受賞した地域の歴史のシンボリック存在である河内屋を移転し、その老舗の雰囲気を生かしながら改装して新たに生まれ変わった「大正ロマン」と、花を配し地域のイメージを表した街灯の立ち並ぶ八日町の歩道空間は、歴史の香りと現代性が調和し響き合う、魅力ある空間を生み出している。これからのまちなみ景観形成のひとつのモデルとなる。



## No.40 「JR八戸駅と大イチイ」(特別賞)

### 選定理由

平成14年度に開業した東北新幹線八戸駅は、八戸市及び青森県の玄関口として、ランドマークになっている。飛来するウミネコをイメージし、白色系で統一されたその外観は、明るく清潔感にあふれ、乗降客にすがすがしい開放感を与えている。また駅東口の大イチイは、八戸市のシンボル樹としての確かな存在感を示すとともに、自然のうるおいのある小空間を作り出している。



## 第16回 平成16年度（2004）「八戸市まちの景観賞」

### No.41 「三日町ケースビルディングとカフェサザンウィンド」（閉店） （花と緑部門&まちなみ空間部門）

#### 選定理由

市中心街にあって、通りに面した店舗前面から脇の路地に続く空間を四季折々の花で飾り、その洗練された空間演出は、街のにぎわいの中にやすらぎと優しさのあるスポットを創り出している。維持管理への努力にも、心のこもった熱意が感じられる。



### No.42 「八戸菓子かぐら南類家店」（閉店）（建築デザイン部門）

#### 選定理由

ゆったりとした敷地と黒をベースとする落ち着いた雰囲気のお店は、併設した小庭園とともに、和菓子店であることをさりげなくアピールし、周辺環境にもよく調和している。和風と現代性を兼ね備えた、新しい店舗建築のひとつのありかたであろう。



## No.43 「プレイピア白浜」(閉園)(特別賞)

### 選定理由

貴重な山野草の多い広大な園内は無料開放されており、訪れる市民や観光客を魅了している。この敷地に群生している草花は、管理者のたゆみない努力と市民ボランティアによる維持活動によって守られており、この活動の一層の活発化と継続を期待する。



## 第17回 平成17年度(2005)「八戸市まちの景観賞」

## No.44 「カッコーの森エコーランドのせせらぎ遊歩道」(花と緑部門)

### 選定理由

運動施設が集まる中に、既存の地形を活かした自然な空間を演出しており、秋の紅葉をはじめとした四季折々の魅力を感じることができる。ミズスマシ、アメンボ、カエルなど多様な生物も生息し、せせらぎの音を聞きながらゆったりと散策できる。併設されている茶室とともに、老若男女問わず安らげる空間となっており、維持管理のさらなる向上に期待する。



## No.45 「八戸屋台村 みろく横丁」(まちなみ空間部門)

### 選定理由

一見雑然としたその空間は、人と人とのふれあいに溢れており、まるで我が家にいるようなくつろぎを感じることができる。夜の賑わいはもちろんのこと、屋台のデザイン、井戸、ポストなど懐かしい雰囲気と統一された路地空間は、日中、そこを通る人たちをも楽しませる。

また、定期的に店舗をリニューアルしていく計画があり、これからも時代の変化に応じた新たな魅力の展開に期待する。



## 第18回 平成18年度(2006)「八戸市まちの景観賞」

## No.46 「八戸市更上閣」(建築デザイン部門)

### 選定理由

母屋は明治30年頃に建てられたが、その後の増改築を経ながらも、明治期の基本的な純和風建築様式を今に残している。

臥龍の松をはじめとした古木は建物と調和し大変風情があり、中心市街地にありながら静謐で心地よい空間を創出している。

市民の集会場として利用されているほか、近年は、お庭えんぶりの会場としても利用されており、これからも積極的な活用、情報発信に期待する。



## No.47「新むつ旅館」(閉館)(特別賞)

### 選定理由

営業形態は変わったものの、明治31年の創業から現在に到るまで、その堅固な造りと代々の経営者の努力により創業当時の状態を留め、特徴ある路地形状とともに隆盛を誇った小中野新地を偲ばせる、八戸の歴史を彩る重要な建物である。

近年、老朽化が進み維持管理に課題はあるものの、外観のみならず内装や調度品の歴史的、文化的、民俗的価値からも、後世に是非残していただきたい建物の一つである。



## 第19回 平成19年度(2007)「八戸市景観賞」(「まちの景観賞」から改称)

## No.48「長者ファーム」(閉園)(まちなみ空間部門)

### 選定理由

中心市街地にほど近い住宅地の中にありながら、静かに歴史を刻み、貴重な景観を維持している。牧場で馬が草を食む穏やかな風景、きれいに組まれた柵、手入れされた垣根など周辺住民に限らず道行く人にとって心地良い空間となっている。



## No.49「山の楽校運営協議会」(景観づくり部門)

### 選定理由

青葉湖やそば畑など豊富な景観資源と調和した青葉湖展望交流施設において、地域住民が一体となり季節を通じての様々なイベントなど、八戸市を代表するコミュニティ活動を展開している。これからも景観資源を活かした活動を通じての景観保全・形成に期待する。



## No.50「新井田西町内会」(景観づくり部門)

### 選定理由

町内会をあげて四季折々の草花を植え、住宅地の中に潤いと憩いの空間を演出している。宿根草を植えたり通所授産施設と協力しあうなど、花だんの彩りを保つために工夫をしている。これからも活動の継続と、更なる広がり期待する。



## No.51 「エスタシオン」(旧店舗) (特別賞)

### 選定理由

期間限定の施設であったが、学生や市民のボランティアで造られ、中心市街地に新たな魅力を提案し、「まち」に集う拠点、交流の場として果たした役割は非常に大きい。エスタシオンに刻んだ想いを抱き、これからも景観づくり、まちづくりでの活躍を期待する。



## 第20回 平成20年度(2008)「八戸市景観賞」

## No.52 「市野沢堤」(まちなみ空間部門)

### 選定理由

近景には水面に浮かぶ睡蓮、中景には豊かな彩りを見せる桜や紅葉などの樹木があり、後背の山並みとの色彩のコントラストにより絵画的な景観を有している。個人の努力により良質な空間・環境が維持されているものの、地域の手により更に磨き上げ、南郷区を代表する景観となることを期待する。



## No.53 「八戸セメント株式会社NSPタワー」(まちなみ空間部門)

### 選定理由

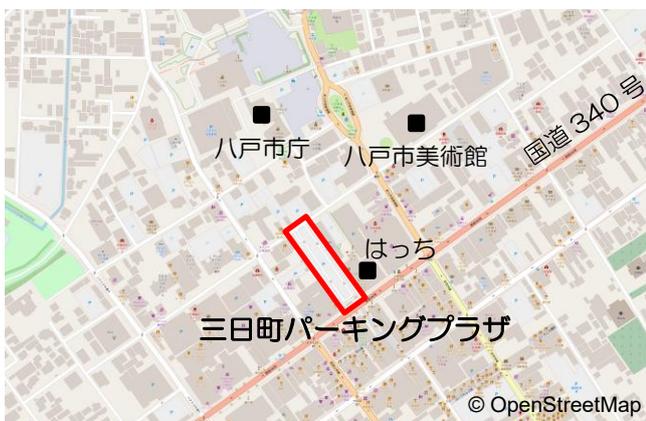
工業都市・八戸を象徴する力強さを感じさせるタワーである。機能性と効率性が重視されるプラントであるが、高いデザイン性を有し、八戸のランドマークとなっている。また、平成3年から続けている夏と冬のライトアップは、社会貢献への姿勢と景観づくりに対する意欲を感じさせる取り組みである。



## No.54 「三日町パーキングプラザの緑化活動」(景観づくり部門)

### 選定理由

賑わいとともにも安らぎと潤いの空間が求められる中心市街地において、駐車場内の限られたスペースを有効活用し、四季を通じて草花を途切れさせない活動は10年に及んでいる。誰でも取り組みそうではあるが、継続することの難しさと素晴らしさを感じさせる活動である。



## 第21回 平成21年度（2009）「八戸市景観賞」

### No.55 「光星学院高等学校」(まちなみ空間部門)

#### 選定理由

旧校舎の内側に建設することにより生まれたスペースや、低層校舎により、生徒・職員のみならず市民に心地よい開放感を与える空間デザインとなっている。また、道路沿いには桜等の植栽を施し、地域の景観向上へ積極的に貢献する姿勢が感じられる。



### No.56 「有限会社 石甚」(旧店舗) (景観づくり部門)

#### 選定理由

建物の更新が著しい中心市街地において、後世へ伝える意識を高く持って、町家建築を受け継ぎ、復元的に改修している。第11回八戸市まちの景観賞建築デザイン部門受賞の株式会社山勝商店と響きあい、地域の歴史や文化を継承するとともに、これからの地域づくり等における積極的な活用に期待する。



## No.57 「株式会社 高橋製作所」(景観づくり部門)

### 選定理由

新築された組立工場は、安全で効率的な作業を可能とする空間づくりに取り組むとともに、明るく爽やかな色調の外観は工場の新しいイメージを提案している。これからの敷地全体の景観づくりと周辺地域への波及効果に期待する。



## 第22回 平成22年度(2010)「八戸市景観賞」

## No.58 「こどもの城保育園」(まちなみ空間部門)

### 選定理由

明るく柔らかな色彩と曲線を多用したデザインにより、そこで学ぶ子どもたちを優しく包み込む印象を与える建物である。エントランスを中心に美しく彩る花々、ベンチや壁のオブジェは、園児のみならず、地域住民にも潤いと安らぎ、楽しさや活力を与えるものであり、是川地区に新たな魅力を生み出している。



## No.59 「八戸臨海鉄道株式会社」(旧事務所) (まちなみ空間部門)

### 選定理由

大正13年に建築された尻内駅診療所を改修しながら、現在も事務所として使用している。新幹線開業により、大きく街並みが変わっていく八戸駅周辺において、往時を偲ばせる貴重な近代建築物であり、外観だけでなく内部の意匠も含めた景観的、文化財的価値からも、後世に残していきたい建物の一つである。



## No.60 「八戸工業大学メディアセンター」(まちなみ空間部門)

### 選定理由

ガラス張りの開放的なデザインの正面と、凹凸のない長方形のすっきりとした側面のフォルムが特徴的な建築物で、既存建築物と調和しながらも独特の個性を主張している。デザインも秀逸ながら、学生や教職員、来校者にとって居心地の良い滞留拠点として機能し、八戸を代表する教育機関の八戸工業大学の“顔”となりうる建築物である。



## No.61 「八戸ガス株式会社球形ガスホルダー」(景観づくり部門)

### 選定理由

大きさや内容物による威圧感・不安感を軽減するため、ガスホルダー全体をキャンバスとしたアート作品のように仕上げている。工業、港湾施設と商業施設が隣接する沼館地区において、ガスホルダーをランドマークに昇華させたこの取組みは、全国的にも先進的なものであり、地区の景観向上に大きく貢献している。



## 第23回 平成23年度(2011)「八戸市景観賞」

## No.62 「フラワーショップ 福寿園」(焼失)(まちなみ空間部門)

### 選定理由

八戸駅前通りの雰囲気をもっと明るくしてくれるデザインで、個人の店の努力が感じられる。この店があることで、周りの店への波及効果を期待したい。点が線になってつながれば、今後の駅前通りの景観に期待できる。



## 第24回 平成24年度（2012）「八戸市景観賞」

### No.63 「元祖鶴子まんじゅう 萬榮堂」（まちなみ空間部門）

#### 選定理由

櫛引八幡宮を背景にした店舗は、周辺と調和して落ち着いた良い雰囲気を生み出しており、品格がある。

またこの建物によって、参道に続く街路にも今後の可能性を感じられる。



### No.64 「喫茶 北岳の茶屋」（まちなみ空間部門）

#### 選定理由

山好きのご主人が集めたさりげない小物や植栽などが出迎える山小屋風の建物は、道路に面しているにもかかわらず隠れ家的で不思議な落ち着きを感じさせる。



## 第25回 平成25年度（2013）「八戸市景観賞」

### No.65 「八戸彩画堂」（まちなみ空間部門）

#### 選定理由

白くシンプルな明るい近代的建物は、落ち着いた色調の立体文字による看板とともに、そばの街路樹や周辺の静かな環境に調和している。

さりげない遊び心とひとへの優しさがあるデザインであり、新鮮な魅力を創りだしている。



### No.66 「CAFÉ DINING VOILA」（まちなみ空間部門）

#### 選定理由

存在を主張させたい商業施設にもかかわらず、住宅地の中であるため、建物の高さを低く抑え、周辺の景観に配慮している。ひっそりとたたずんでいる花や緑に囲まれた小さな建物で、人の目を引き、親しみやすい雰囲気を出している。また、夜はライトアップされる看板と建物までの道の照明が、奥行きある楽しい空間を創りだしている。



## 第26回 平成26年度（2014）「八戸市景観賞」

### No.67「対泉院」（まちなみ空間部門）

#### 選定理由

山門や古代大賀ハスなど、八戸の歴史と太古のロマンを紡いできた空間であり、境内に一步足を踏み入ると、静寂に包まれた空間が広がり、訪れる人々に豊かな癒しの時を与えてくれる。



### No.68「鮫角灯台」（まちなみ空間部門）

#### 選定理由：

白亜円形の灯台と、空と海の青のコントラストが美しい。落ち着いた佇まいの鮫角灯台は建築物としても優れており、周辺の景観とも見事に調和し、三陸復興国立公園の北の玄関口にそびえたつシンボルである。



## 第27回 平成27年度（2015）「八戸市景観賞」

### No.69「KOMÉKUUTO八戸店」（まちなみ空間部門）

#### 選定理由

区画整理開発が進み、新しい建築物が多いまちなみにあって、自然素材である木材を基調としたシンプルな外観でありながら、斬新さも感じさせるデザインとなっていて、見事に周辺景観と調和している。少し奥まった入り口へのアプローチは、植栽を上手に配し、プロムナード的なつくりも素晴らしい。



### No.70「八戸LNGターミナル」（まちなみ空間部門）

#### 選定理由

工業地帯の中でも、群を抜くスケールの八戸LNGターミナルは、LNGタンクの迫力と合わせて、ターミナルとしての機能美も素晴らしい。

この八戸LNGターミナルの完成は、東日本大震災で被害を受けた市沿岸部の復興の象徴のひとつとなり、また市内いたるところから目にする事ができるため、八戸市の新しいランドマークになったといえる。



## No.71 「八戸市史跡根城の広場」(景観づくり部門)

### 選定理由

八戸市史跡根城の広場は平成6年10月に公園化され、根城南部氏時代の城の面影を残す地形の元に整備され、「日本100名城」に選ばれている。広い芝生地とそれを取り囲むしだれ桜など、手入れの行き届いた広場は、四季折々に散策を楽しみながら歴史に触れることができる。

隣接地には八戸市博物館もあり、さらに根城史跡ボランティアガイドの案内もあるなど、本丸と馬淵川を望む景色とあいまって、中世の城郭の面影を残した景観を形成しており、八戸発祥の地に思いを馳せることができる貴重な歴史公園である。



## 第28回 平成28年度(2016)「八戸市景観賞」

## No.72 「植物屋 ARAYA」(景観づくり部門)

### 選定理由

八戸市内でも古くからある住宅街にあって、既存の建物に手を加えることでまちなみ景観に新しい雰囲気と価値を与える可能性を示した。物置を改修した真っ白な店舗と住宅の外壁の黒が調和し、植物が良いアクセントになっている。

住宅街のなかでこうした魅力ある空間を作り出したことは、今後の住宅街の景観形成のアイデアとして高く評価できる。



## No.73 「八戸学院短期大学幼児保育棟と美保野キャンパスのケヤキ並木」

(まちなみ空間部門)

### 選定理由

キャンパス内にまっすぐ続くケヤキ並木は、まるで緑のトンネルのような様相を呈し、季節の移り変わりとともに様々な姿を見せ、通り行く人々を楽しませている。

ケヤキ並木を抜けると姿を現す幼児保育棟は、敷地の高低差をうまく活かし、並木道からそのままアプローチできるようにエントランスが配置され、連続性のある空間が創られている。また、煉瓦積みの外観は、ケヤキ並木や既存の校舎と調和し、一体感を感じさせる。



## No.74 「八戸市立南郷図書館」(まちなみ空間部門)

### 選定理由

大きなガラス張りが特徴のコンクリート造の建物に、木材のルーバーが施され、清潔感とぬくもりが感じられる。

駐車場からエントランスにかけて配置されたモニュメントや植栽は遊び心がある楽しい空間となっている。

建物のほかに、道路沿いのりんごの木など、細部にわたる景観に配慮した空間の演出が素晴らしく、維持管理も十分に行き届いている。



## No.75 「蕪島前広場と蕪島海浜公園」(まちなみ空間部門)

### 選定理由

うみねこの繁殖地として国の天然記念物に指定されている蕪島へのエントランスは、東日本大震災による津波の被害を受けた後、三陸復興国立公園の北の玄関口に相応しいものに整備され、みちのく潮風トレイルの終起点にもなっている。

プロムナードの部分はブロック舗装の配置と緩やかな築山により、波の形が意識され、平面的にも立体的にも楽しめるデザインで、歩きたくなるような空間になっている。また、蕪島休憩所は蕪島にマッチした一体感のある景観空間となっている。



## 第29回 平成29年度(2017)「八戸市景観賞」

## No.76 「旧島守発電所及び旧島守発電所保存公園」(景観づくり部門)

### 選定理由

青森県内に現存する最古の水力発電所で、大正時代の本館やドイツ製発電機、付随施設が当時のままの姿で残され、産業遺産として国の登録有形文化財に指定されている。

目の前を流れる新井田川と鷹ノ巣吊り橋、そして樹木に恵まれた周囲の自然景観に溶け込んでいる本館及び公園は、かつての発電所の様子がいばれるとともに、訪れる人々を和ませ、清清しく心地よい癒しの空間を形成している。



## No.77「城下館々」(まちなみ空間部門)

### 選定理由

古い倉庫をフランス風にリノベーションしたテナントビルとして再生。

外壁は工夫を凝らしたモルタル造形で仕上げられており、隣接する建物と連続した統一感のあるデザインとすることで、おしゃれで落ち着いた空間を造り出している。

さらに建物の前には、建物の雰囲気にあわせてベンチ、照明灯、植栽、看板を配置し、通りのアクセントとなっており、潤いと情緒のある街並みの形成に寄与している。



## No.78「小さな街のレストランSpread&地域のお洒落な集会所Canvas」(まちなみ空間部門)

### 選定理由

住宅地であって、ゆったりとした広場空間を有しながら、柔らかい暖かみのある建物が2棟ある。

建物の庇の柱にもリズム感のある意匠性を持たせ、建物どうしの連続性に工夫をこらしながら植栽等も配置しており、まとまりのある外構になっている。

建物と広場空間が一体となって、人々が集い語らえる潤いの場を形成している。



## 第30回 平成30年度（2018）「八戸市景観賞」

### No.79「小久保保育園」（まちなみ空間部門）

#### 選定理由

木を使った落ち着いたデザインは、薪ストーブの煙突などの付帯設備も含め、周辺の緑豊かな住宅景観に見事に溶け込んでいる。また、象徴的なキリンのオブジェは目印として近隣住民に親しまれることが想像できる。

園児が自然と触れ合うことができる学びの施設であることも評価できる。



### No.80「八戸市立西白山台小学校」（まちなみ空間部門）

#### 選定理由

これまでの小学校とは一線を画すデザインであるが、建築物として機能的であり、使う人の感性に届く造りとなっている。また、青森県産材が風雪に当たらない箇所に効果的かつ丁寧に使用されており、そうした創意工夫が良好な景観を形成している。

敷地内の植栽についても、自然に近い配置となるよう工夫されており、他の見本になる事例である。



## No.81 「更上閣にぎわい広場」(景観づくり部門)

### 選定理由

植栽の選び方、築山や展望デッキの配置がすばらしく、更上閣の建物とも調和した一体的な景観を形成している。今年2月に供用開始された新しい施設であるが、適正な植栽の剪定や芝生の管理等により、今後多くの人の憩いの場として育まれていくことを期待したい。



## No.82 「三八城公園」(景観づくり部門)

### 選定理由

長い歴史の中で、設備や形を変えながら、良好な状態で維持されている。中心市街地にありながら水や緑に親しむことのできる静謐な空間として、子どもから大人まで楽しむことができる施設である。公園外部から存在が認識しにくい印象があるが、もっと多くの人に知ってもらいたい公園である。



## 第31回 平成31年度（2019）「八戸市景観賞」

### No.83「相馬邸（工房マザーハウス・café yumeru）」（まちなみ空間部門）

#### 選定理由

庭園には多種多様の植栽が見られ、年中バラが咲き誇るように手入れされており、建物との調和も優れている。母屋の横にあるカフェもセンスよく周辺の住宅景観に見事に溶け込んでいる。訪れた人を明るい気持ちにさせてくれる空間も評価できる。



### No.84「八戸市みなと体験学習館」（まちなみ空間部門）

#### 選定理由

既存の建物を活かしたリノベーションは、これからの公共施設の建築を考える上で一つの見本になる事例である。湊地区の歴史・文化や過去の震災の被害・教訓を広く国内外及び次世代に伝承する「震災伝承施設」として、被災地を代表する施設となることを期待したい。



## No.85 「島守田園空間博物館運営協議会」(景観づくり部門)

### 選定理由

日本の原風景が残る島守地区において、自然や暮らしの全体を屋根のない博物館に見立てた「島守田園空間博物館」の魅力を、多くの人に知ってもらおうという熱意を持ち、歴史や伝統、自然等の景観要素を活かした多様な活動を行っている。



## 第32回 令和3年度(2021)「八戸市景観賞」

## No.86 「グランフォート別館 LUMO」(建築物部門)

### 選定理由

建物と庭園が一体となって、街中とは感じさせない異国感を演出している。庭園のデザインも秀逸で、手入れの行き届いた多種多様の植栽が見られ、心地よい空間を創出している。多目的フリースペースとして一般利用が可能なおことから、通りから直接見通すことはできないが、隠れ家として、人々が集い語らえる潤いの場を形成している。



## No.87「清水寺観音堂」(建築物部門)

### 選定理由

周囲の自然環境との調和が素晴らしく、落ち着いた佇まいの建築物である。茅葺屋根の全面葺き替え工事が行われており、その技術継承を期待したい。歴史を感じる圧巻の佇まいで、国の重要文化財として多くの人に知ってもらい、後世に残していきたい貴重な建造物の一つである。



## No.88「AG Designオフィス兼自宅」(建築物部門)

### 選定理由

高低差のある土地の良さを活かし、擁壁と築山をうまく利用されている。敷地境界にはフェンス等を設けず、隣地敷地との連続性にも配慮されている。広々と感じさせる庭園と建物との調和が素晴らしく、住宅街の景観形成のアイデアとして高く評価できる。」として、被災地を代表する施設となることを期待したい。



## No.89「糠塚・大慈寺と周辺地」(景観づくり活動部門)

### 選定理由

歴史的建造物で静寂に包まれた空間が広がり、訪れる人々に豊かな癒しの時を与えてくれる。山門を中心に左右に白壁と板塀を組み合わせた周辺景観は、歴史に触れながら散策を楽しむことができる空間である。広い敷地内は手入れが行き届いており、歴史・文化・観光面からも多くの人に知ってもらいたい素晴らしい場所である。



## No.90「私の街を学ぶ～多賀台小学校・通学路で見つけた景観」 (生きた景観部門)

### 選定理由

人と景観の繋がりが子供たちに伝わることで、良好な景観まちづくりに関わる意識を持った人が育てられる。景観学習を通じて、子供たちが自分の住む町の再発見に繋がる素晴らしい活動である。地元を愛する人を育てる活動は、未来へ繋がる学びであることから、これに続く活動が他地区へも広がるためのモデルケースとして評価できる。



## 第33回 令和5年度（2023）「八戸市景観賞」

### No.91 「八戸市美術館」（公共施設・公共空間部門）

#### 選定理由

八戸の中心部に建つ建物として風格と現代を感じさせると同時に、美術館前の広場が都市空間として周辺環境にとけ込み調和がとれている。新しい美術館のコンセプトの体現と、中心市街地を文化芸術エリアとしてさらに発展させていく公共施設として、今後の中心街の景観形成の核になることを期待したい。



### No.92 「KenKumi Garden（佐藤邸のバラ園）」（景観づくり活動部門）

#### 選定理由

300 坪余りの庭園にバラの多様な種類を植栽し、庭園の中は小路が整備され、植栽とともに維持管理がきちんとなされている。ご夫婦のバラに寄せる想いが伝わってくる空間で、来訪者に癒しの場所を提供している貴重な場所であるため、今後も継続してもっと多くの人に知ってもらいたい。



## No.93 「マリエントからのみなと景観」(生きた景観部門)

選定理由

海・無島・山と八戸自慢の港湾都市が一望に見渡せる自慢の景色である。「小さな穴場スポット発見」的な景観の面白さもあり、季節や時間によって表情を変える楽しみもある。八戸の発展により、新しい景観に移り変わることも楽しみである。



八戸市

都市整備部 都市政策課

〒031-8686 八戸市内丸一丁目 1-1 別館 6階

TEL : 0178-43-9420

FAX : 0178-41-2302

E-mail : [toshisei@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:toshisei@city.hachinohe.aomori.jp)